

著者紹介

Linus Torvalds

Transmeta Corporationに勤務。
E-mail:torvalds@transmeta.com

Tim O'Reilly

オープンソースソフトウェア関連書籍の有力出版社であるO'Reilly & Associates社の創始者でCEOであり、執筆、講演、会議を通じてオープンソースイニシアティブ（Open Source Initiative）の促進に活発に貢献している。「オープンソースサミット」を1998年、初めて主催。主要なオープンソースコミュニティの有力な指導者が一堂に会した。
E-mail:tim@oreilly.com

旭 敏之（正会員）

1984年大阪大学基礎工学部修士課程修了。同年日本電気（株）入社。1997年奈良先端情報科学科博士課程修了。現在、同社ヒューマンメディア研究所研究マネージャ。ヒューマンインタフェース学会、Usability Professionals Association各会員。

安藤 進

訳書「プログラミングの壺」（共立出版）、「Java」、「JavaScript」、「Webセキュリティ&コマース」、「TCP/IPネットワーク管理」（以上、オライリー社）、著書「インターネット英語の読み方&書き方&調べ方」、「Eメールハンドブック」（以上、共立出版）。

井上 祐一

1981年セイコーインスツルメンツ（株）入社。以来、腕時計の生産技術と開発設計を経て、現在CP事業部CP開発部CP開発課にて、ラビュータの開発に従事。

上原哲太郎（正会員）

和歌山大学システム情報学センター講師。平成7年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程研究指導認定退学。同年同大学院工学研究科助手。平成8年同大博士（工学）。同年和歌山大学情報処理センター講師。平成9年より現職。ハイパフォーマンスコンピューティング全般、特に自動ベクトル化並列化コンパイラの研究に従事。インターネット管理技術の研究にも興味を持つ。

太田 昌孝（正会員）

昭和34年生。昭和62年東京工業大学総合情報処理センター助手。博士（理学）。コンピュータグラフィックス、UNIX、計算の高速化、文字コード、DNS、マルチキャスト、QoS保証、超高速ルーティング等の研究に従事。

片山 宗臣

1946年千葉県館山市生。1964年都立赤城高等学校卒業後電気通信大学入学、3年次で中退。日本生命入社。1982年小林演劇かつら入社（歌舞伎のかつら制作会社、父親の経営する会社）。1987年退社。現在のアンボウズ設立、現在に至る。

加藤 朗（正会員）

1961年生。東京工業高等専門学校電子工学科、東京工業大学工学部電気電子工学科を卒業し、同大理工学研究科情報工学専攻博士課程満期退学後、慶應義塾大学環境情報学部助手を経て東京大学大型計算機センター助手。1999年4月より大型計算機センター改組に伴

い、情報基盤センター助手。工学修士。1985年よりJUNET、1987年よりWIDEの運営および運用に携わる。「bit別冊インターネットオペレーション」（共著、共立出版）、「Interconnection—ブリッジとルータについて—」（R. Perlman著、監訳、ソフトバンク）など。電子情報通信学会、USENIX、ACM、Internet Society各会員。

加藤 雄一

シチズン時計（株）技術研究所勤務。1982年東京農工大学工学部卒業。同年シチズン時計（株）入社。液晶デバイス開発、液晶応用製品開発に従事。

木林 利光

富士通（株）移動通信端末事業部技術部。1985年金沢工業大学電子工学科卒業、同年入社。以来移動無線装置およびPDC携帯端末機の開発に従事。

E-mail:kibayasi@mrt.ts.fujitsu.co.jp

小山 和宏

1994年セイコーインスツルメンツ（株）入社。以来、腕時計と時計応用製品の開発設計を経て、現在CP事業部CP開発部CP開発課にて、ラビュータの開発に従事。

酒井 高彦（正会員）

1980年早稲田大学理工学部電気工学科卒業。同年（株）東芝入社。オフコンのHW開発に従事。同商品企画部門を経て、1995年よりICカード関連業務を担当。現在ICカードシステムの設計を担当。

佐藤 努

富士通東北デジタル・テクノロジー（株）第二技術部。1985年仙台電波高専情報工学科卒業、同年入社。以来PDC基地局および携帯端末のハードウェア開発に従事。現在、W-CDMA携帯端末機のハードウェア開発に従事。

E-mail:tsatoh@tdt.ts.fujitsu.co.jp

宍戸 周夫

1948年生。1971年上智大学法学部卒業。同年日刊工業新聞社入社。出版局編集長、編集局編集委員。1997年よりフリーランス・ジャーナリスト、テラメディア代表。著書「マイクロソフトの真実」、「データウェアハウス」、「エンタープライズ・コンピューティング」等。

竹沢 寿幸（正会員）

（株）エイ・ティ・アール音声翻訳通信研究所第四研究室主任研究員。1989年早稲田大学大学院博士課程修了。工学博士。音声翻訳システムの研究に従事。電子情報通信学会、人工知能学会、日本音響学会、言語処理学会各会員。

E-mail:takezawa@itl.atr.co.jp

戸田 善文

富士通（株）移動通信端末事業部3Gプロジェクト部担当部長。1973年中部工業大学電子工学科卒業、同年入社。以来移動無線装置およびPDC携帯端末機の開発に従事。現在、W-CDMA携帯端末機の開発に従事。電子情報通信学会会員。E-mail:toda@mcws.ts.fujitsu.co.jp

豊川 哲根

1983年東京大学工学部電気学科卒業。同年、日本アイ・ビー・エム（株）入社。ディスプレイ

イおよびパーソナル・コンピュータおよびノートブック・コンピュータの開発に従事。1995年5月よりエンベデッド・システムズ事業部にてネットワーク対応ストレージハードウェアの開発を担当。E-mail:toyokaw@jp.ibm.com

中井 真嗣（正会員）

1995年東京大学工学部機械情報工学科卒業。1997年同大学院工学系研究科修士課程修了（産業機械工学専攻）。同年、日本アイ・ビー・エム（株）入社。以来ノートブック・コンピュータの開発に従事。現在に至る。

E-mail:snakai@jp.ibm.com

中田登志之（正会員）

昭和60年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程満期退学（工学博士）。同年NEC C&C研究所に入社。入社以来並列処理アーキテクチャ／ライブラリ／応用の研究に従事。現在NEC C&Cメディア研究所研究部長。

中野 功一（正会員）

1986年防衛大学校理工学部応用物理学科卒業。1989年日本デジタルイクイップメント入社。大規模システムインテグレーションを手がける。1996年バイネットワークス（株）（現、ノーテルネットワークス（株））入社。IPサービス関連製品を担当。

中村 宏（正会員）

平成2年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。同年筑波大学電子・情報工学系助手。同講師、同助教を経て、平成8年より東京大学先端科学技術研究センター助教授。計算機アーキテクチャ、ハイパフォーマンスコンピューティング、計算機の上位レベル設計支援の研究に従事。本会平成5年度論文賞、平成6年度山下記念研究賞各受賞。

西山 智（正会員）

1984年東京大学工学部電気工学科卒業。同年国際電信電話（株）入社。1991年米国テキサス大学オースチン校計算機科学科修士課程修了。現在、（株）KDD研究所主任研究員。ネットワーク管理およびデータベースの研究に従事。電子情報通信学会会員。

野口 正博

1989年セイコーインスツルメンツ（株）入社。以来、腕時計と時計応用製品の開発設計を経て、現在CP事業部CP開発部CP開発課にて、ラビュータの開発に従事。

廣瀬 通孝（正会員）

1982年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。同年東京大学工学部講師。1983年助教を経て、1999年先端科学技術研究センター教授。専門はシステム工学、ヒューマン・インタフェース。主な著書「バーチャル・リアリティ」（産業図書）など。

藤山 裕二

富士通（株）移動通信端末事業部ソフトウェア部。1993年愛知工業大学情報通信工学科卒業、同年入社。以来携帯端末のソフト開発に従事。電子情報通信学会会員。

E-mail:fujiyama@msd.ts.fujitsu.co.jp

前川 徹 (正会員)

1955年生。名古屋工業大学情報工学科卒業。1978年通産省入省。機械情報産業局情報政策企画室長、JETRO New Yorkセンター産業用電子機器部長を経て、1997年から情報処理振興事業協会セキュリティセンター所長。

宮崎 清志

富士通 (株) 移动通信端末事業部企画・方式部。1979年東京都立大学物理学卒業。1980年富士通第一通信ソフトウェア (株) 入社、以来無線通信機器のソフト開発に従事。1996年富士通 (株) に転社、現在デジタル携帯端末機の開発に従事。

E-mail:miyazaki@mcws.ts.fujitsu.co.jp

村田 鉄也

富士通北海道通信システム (株) 第一システム部。1990年弘前大学理学部化学科卒業、同年入社、以来携帯端末のソフト開発に従事。

E-mail:murata@hcs.ts.fujitsu.co.jp

山田 尚勇 (正会員)

昭和28年東京大学電気工卒業。昭和35年ペンシルバニア大学Ph.D.、ゼネラルダイナミクス社とIBM社の研究員を経て、昭和41年ペンシルバニア大準教授、昭和47年東京大学理学部教授、昭和63年学術情報センター教授、副所長を経て平成8年より現職。

山本 誠一 (正会員)

(株) エイ・ティ・アール音声翻訳通信研究所代表取締役社長。1974年大阪大学大学院修了。同年国際電信電話 (株) 入社。1997年

ATR音声翻訳通信研究所出向。デジタル信号処理、音声認識、音声合成、自然言語処理の研究に従事。工学博士。電子情報通信学会、日本音響学会、言語処理学会、システム情報制御学会、IEEE各会員。

E-mail:s-yama@itl.atr.co.jp

横尾 昭男 (正会員)

(株) エイ・ティ・アール音声翻訳通信研究所第四研究室室長。1982年電気通信大学院電気通信学研究所電子計算機学専攻修了。同年日本電信電話公社 (現、日本電信電話 (株)) 入社。日英機械翻訳技術の研究に従事。1997年ATR音声翻訳通信研究所出向。音声言語統合処理の研究に従事。電子情報通信学会、人工知能学会、言語処理学会各会員。

E-mail:ayokoo@itl.atr.co.jp



おひいすらん



私の勤務する情報規格調査会は、東京タワーの向かい側にあります。東京タワーといえば、地上250mの特別展望台、150mの大展望台から望む関東一円の眺望が売り物です。かくいう私も中学校の修学旅行で、東京タワーに登った思い出があります。

約10年前、はじめて肉眼で見た東京の街。そびえたつ巨大なビル群からの圧力はバスの中にまで伝わってきて、自分がちっぽけになった気がしました。バスがタワーに到着し、エレベータに乗って展望台のフロアに降り立ちました。そこで私の目の前に広がったのは、小さく細長い灰色の箱がひしめきあうように並んでいる姿でした。つい先程まで見る者を威圧していた巨大な彼らが、ちっぽけな模型のように眼下に広がっているのを見るのは、何とも不思議な気分でした。自分の日常とはまったく異質なものを、非日常的な高さから眺める違和感。居心地の悪さ、ばつの悪さのようなものを感じた記憶が、今でも残っています。

振り返ってみると、東京で働きはじめてすでに3年半が経ちました。今タワーに登って景色を眺めたら、当時とはまた違った感じを受けるだろうと思います。

さて、「高いところから景色を眺める」という観光地は数多くあり

ますね。日本では、サンシャイン、ランドマークタワー、外国では、万里の長城、ピクトリアピークなどなど... あなたはどこから眺めるどんな景色がお好きですか？

生まれ育った町の城山からの眺めは、私の好きな景色のひとつです。城山へ登って行く途中に公民館の図書室があり、小学校のころはよく図書室に本を借りに行きました。図書室からの帰り道、借りた本を早く読みたいというはやる心をおさえながら、道路脇に立ち止まり、生まれ育った町の眺望にしばし浸る時間がありました。自分の家や友達の家、通い慣れたお店を見つけ、さらに遠くへ目をやると、彼方に青い海が見えます。海は自分が生きている世界とは違う世界へ通じる道です。海を渡って見知らぬ土地を訪れ、いろいろな人々に出会いたい、そしてその新しい場所で、胸にかかえているこの本の主人公が経験するような冒険に出会えるかもしれない... そういったわくわくした思いがこみあげ、未来への期待で心がざわめきたちます。心の翼は、今にも飛び立ちたくて、バサバサと音を立てているような気がします。

これが私の好きな景色、心が鳥になれる景色です。

(花石律子/情報規格調査会)

賛助会員入会のおすすめ

本学会では日々発展し続ける情報メディア分野の先駆者として、会員の方々を中心に、学界・官界および産業界のご支援を得て、調査研究、論文発表、国際会議開催などの活動を続けております。お近くに、入会をご希望の方および企業・団体がおられましたらご紹介ください。

- 資格 本会の目的事業に賛同される方または団体
- 会費 1口 50,000円/年間*何口でも加入可
- 特典
1. 口数に応じて会誌「情報処理」の配布数、研究会登録の優遇制度があります。
 2. 全国大会、研究発表会、セミナー、シンポジウム等に正会員に準じて会員特価で参加できます。
 3. 本学会編集図書が会員特価で購入できます。
 4. 賛助会員名簿の無料配布、賛助会員名の会誌掲載。ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 公開。
 5. 会誌「情報処理」(約30,000部/月) 会告に人材募集記事が掲載できます。

照会先 情報処理学会 会員担当

★主要賛助会員 (順不同)

- <10口以上> : 日本電信電話 (株)、日本電気 (株)、(株) 日立製作所、三菱電機 (株)、日本アイ・ビー・エム (株)、(株) 東芝、富士通 (株)、(株) NTT データ、NTT コミュニケーションウェア (株)、NTT 移動通信網 (株)
- <5~9口> : 沖電気工業 (株)、日本ユニシス (株)、東京電力 (株)、アンリツ (株)、(株) 日立マイクロソフトウェアシステムズ

会員の広場



今日の会員の広場では、6月号の記事に関して寄せられた声を中心に紹介します。

6月号に掲載された解説「ここまできた MPEG 実用化技術—PC用動画カメラの開発—」は、実用化の経緯を開発者自身が語ったものでした。会誌としては新しい試みですが、非常に大きな反響をいただきました。まずはそのあたりの声をご紹介します。

□「ここまできたMPEG実用化技術」は、「製品紹介的」という意見もあろうかと思いますが、私は興味深く読みました。開発的な仕事は会誌で取り上げられる機会は少ないようですが、開発者自身のことばによるこのような記事は「モノ創り」を目的とする工学の分野では大いに参考になるのではないのでしょうか。今後も、システム開発の苦心談や良い意味での泥臭い部分の記事として取り上げて欲しいと思います。(五十嵐智)

□今月号は、「ここまできたMPEG実用化技術」のPC動画カメラや、「ダウンロード型TV」、「ボイスダイヤリングシステムの現状」など、製品の実用化技術に関する話題が多く、これらを特におもしろく読ませていただきました。このような実用化技術の話は、最近特に進歩が早く、おもしろくなってきていますので、これからも取り上げて欲しいと思います。(匿名希望)

□理屈はともかく、成功を信じて実施した実績は、力強い説得力があり、勇気を与えられました。見習って、「まずは実行してみる」よう努めたいと思いました。(岡田昌康)

□「ここまできたMPEG実用化技術」のような実際の製品の開発話を今後も掲載して欲しい。(匿名希望)

□「ここまできたMPEG実用化技術」の解説記事は興味深かった。このようなメーカーの宣伝のような記事を会誌に載せてもよいのか、と思いながら読み進めていったが、通常は公になることのめったにない新製品開発の過程が記録されており、たいへん役に立った。暗号輸出規制の解説、コラムのMelissaウィルスの記事も、説明が具体的で分かりやすく、参考になった。特集のそれぞれの論文は、皆力作だと思うが、難しく読み通すのが苦痛であった。特集をもっとやさしく、分かりやすいものにしていただきたいと思う次第です。(磯部俊夫)

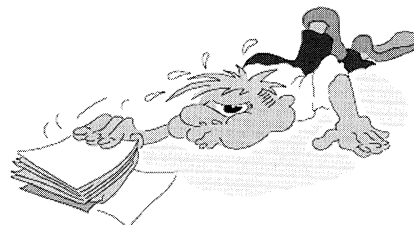
特集「ソーシャルインタラクション」に対しては、次のような声もいただいています。

□内容を完全にフォローできたわけではありませんが、第1、2編からは社会科学的／人文科学的視点から見たコミュニケーションの意味づけがおぼろげながら理解できましたし、第3～5編の解説は、情報処理システムへの新たな切り口を提示するものとして有意義だったと思います。今後、情報処理全般にわたってそのような視点からのアプローチが必要になってくると思いますので、分野の垣根を超えた解説を積極的に取り上げていただきたいと思います。(五十嵐智)

さて、6月号では、解説「実世界における遺伝的・進化的アルゴリズム」と道しるべ「GAを使いこなすには」が、どちらも遺伝的アルゴリズムについての記事であり、連続して掲載されました。続いてはこれらについて寄せられた声を紹介いたします。

□今回の「GAを使いこなすには」と「実世界における遺伝的・進化的アルゴリズム」は、適用できる問題についての説明や実際に使う上での注意点などがあって非常に参考になりました。今後も、このようなさまざまな場面に適用できる技術についての応用にあたっての注意点などをまとめた記事を期待します。(匿名希望)

□今回気が付いたのは、同じGAを扱いつつ、記事「実世界における遺伝的・進化的アルゴリズム」の方にはあまり興味が持てなかったのに対して、もうひとつの記事「GAを使いこなすには」はおもしろく読めたという点です。前者はある程度GAについての知識を前提としている割に、結論があいまいです。つまり、GAについて詳しい人を読者対象としながら、技術全般について当てはまりそうな一般的な結論しか導いていません。それに対して、後者はあまりGAの知識を要求せず、その割には内容が具体的であり、もし、貴誌「情報処理」が啓蒙を目的としているのであれば、後者のような記事がより適当であると考えます。(匿名希望)



□ 今号の「道しるべ」にあったような記事がとても役に立ちます。主な手法に関して、「×××を使いこなすには」という連載をはじめてはいかがでしょう？ (上田晴康)

□ 「GAを使いこなすには」は、まったくの初心者にとってはやや難しく感じました。GA そのものの解説部には具体的なアルゴリズムも含め、もう少しブレイクダウンして解説していただければと思いました。(五十嵐智)

次にインタラクティブ・エッセイ「ことばを大切に」に寄せられた声を紹介しします。

□ インタラクティブ・エッセイを特に興味深く拝読しました。標記の揺れや訳語の選択などは、身近な問題ということもあり、議論には非常に楽しいテーマだと思います。(匿名希望)

□ 今回の「インタラクティブ・エッセイ」では、外来語のカタカナ表記について議論がされていましたが、私の場合、翻訳に困ってしまうような言葉に出会うとカタカナや英語の表記そのままを使ってしまふことが多々あります。芝野氏や池辺氏が例として挙げられたよう、同じ言葉に対し各分野で別の訳語をあてていることがあるという現状を考えると、他分野での用語の扱いに注意をはらって言葉を扱う必要性を痛感しました。(匿名希望)

□ インタラクティブ・エッセイの「カタカナ語」問題は、専門家と技術者と国語学者とマスコミと大衆の考え方がそれぞれ著しく異なっています。今回は前二者の間での議論にとどまっていたように感じました。(戸塚 厚)

その他の記事に対しても、以下のようなご意見をいただいています。

□ 連載「携帯電話の科学：高機能化携帯電話によって提案される新規社会情報基盤」は非常に興味深く楽しんで読ませていただきました。誰もが持つようになってきた携帯電話、ネットワークへの接続も機種を選ばずできるようになってきました。これを利用して、「ちょっと便利」、「ちょっと楽しい」サービス

提供の実現ができればその市場は大きいと思います。

(匿名希望)

□ コラム「現代・コンピュータ市場：コンパックの新戦略“Non Stop eBusiness”の波紋」はもう少し詳細な記事にして欲しかった。(匿名希望)

また、今後取り上げてほしいテーマとして、皆様から以下のような候補をいただきました。編集委員にとっても非常に参考になる項目です。道しるべのテーマと併せて、今後もぜひご意見をお寄せください。

□ 現代社会の緊急課題である環境問題にいろいろな視点から取り組んでください。環境問題へのネットワークの利用、廃棄される大量の情報機器の処理など種々の話題があると思います。(匿名希望)

□ インターネットおよびその端末関連記事 (匿名希望)

最後に、以下のようなご意見が届いております。

□ 大学院生の立場として、「進化システム」の研究をロボット実機を利用して1人で研究を進めています。このような研究も、未来開拓学術研究推進事業であれば、「生命情報」分野に含まれていることが分かりました。最近の大学院における(特に国立)研究開発体制の実態を知りたいと思います。また、企業とは異なる大学院には、企業モラルよりも低いモラルのため、研究開発が進まないなどの問題があると思います。(江谷典子)

皆様からのご意見もお待ちしています。ウェブページ<URL:<http://www.ipsj.or.jp/magazine/an4009.html>>からでもコメントをいただけるようになっていきますので、積極的にご投稿ください。

【本欄担当 田島 玲, 吉田 仙/書評・ニュース分野】

ご意見をお寄せください!!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、
・記事に対する感想、意見
・記事テーマの提案
・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言
など、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。
前号に引き続き、今月号でも「道しるべ」に取り上げて欲しいテーマ」についてのご意見をお待ちしております。

掲載させていただいた方には薄謝を進呈いたします。掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

応募先 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
情報処理学会 会誌担当 E-mail:edit@ipsj.or.jp
Fax(03)5484-3534 <http://www.ipsj.or.jp/magazine/an4009.html>



IPSJカレンダー

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
第118回コンピュータビジョンと イメージメディア研究会	群馬大	9月16日(木)	当日のみ		40-8 会7p	研
モバイルコンピューティング'99 シンポジウム	三菱電機	9月17日(金)	9月3日(金)		40-8 会14p	研
人文科学とコンピュータシンポジウム じんもんこん:-) 1999	国立民族学博物館	9月17日(金) ~18日(土)	9月3日(金)		40-8 会14p	研
第92回システムLSI設計技術研究会	近畿大	9月20日(月)	当日のみ		40-8 会7p	研
「連続セミナー99」 皆が発信するメガチャンネル時代	工学院大	9月20日(月)	定員になり次第		40-8 会15p	事
第26回数理モデル化と問題解決研究会	北大	9月21日(火) ~22日(水)	当日のみ		40-8 会7p	研
関西支部 平成11年度第1回見学会	通信総研	9月22日(水)	定員になり次第		40-9 会16p	西
第15回分散システム/インターネット 運用技術研究会	香川大	9月24日(金)	当日のみ		40-8 会7p	研
第20回デジタル・ドキュメント研究会	名大	9月24日(金)	当日のみ		40-8 会8p	研
第72回情報システムと社会環境研究会	岩手県立大	9月27日(月)	当日のみ		40-8 会8p	研
情報処理学会第59回全国大会	岩手県立大	9月28日(火) ~30日(木)	8月31日(火)	6月25日(金)	40-7 会10p	事
九州支部 電気関係学会九州支部 第52回連合大会	九工大	10月2日(土) ~3日(日)		7月30日(金) 必着	40-7 会19p	九
第78回ハイパフォーマンス コンピューティング研究会	名大	10月7日(木)	当日のみ		40-9 会4p	研
北陸支部 平成11年度電気関係学会 北陸支部連合大会	富山大	10月7日(木) ~8日(金)		8月20日(金) 必着	40-7 会20p	陸
第10回モバイルコンピューティング 研究会	愛知県立大(7日) 豊田中央研(8日)	10月7日(木) ~8日(金)	当日のみ		40-9 会4p	研
第3回高度道路交通システム 研究グループ	愛知県立大(7日) 豊田中央研(8日)	10月7日(木) ~8日(金)	当日のみ		40-9 会4p	研
第26回オーディオビジュアル 複合情報処理研究会	九大	10月8日(金)	当日のみ		40-9 会4p	研
「産業フォーラム」 ウェブコンピューティング	情報処理学会	10月8日(金)	定員になり次第		40-9 会10p	会
第6回電子化知的財産・社会基盤 研究会	早大	10月9日(土)	当日のみ		40-9 会5p	研
共体験ワークショップ'99	多摩美大	10月12日(火)	10月1日(金)		40-9 会9p	研
第32回音楽情報科学研究会	情報処理学会	10月13日(水)	当日のみ		40-9 会5p	研
四国支部 平成11年度電気関係学会 四国支部連合大会	四国電力総合 研修所	10月15日(金)		8月16日(月) 必着	40-7 会20p	四
第118回知能と複雑系研究会	情報処理学会	10月15日(金)	当日のみ		40-9 会5p	研
第44回人文科学とコンピュータ 研究会	岐阜大	10月15日(金)	当日のみ		40-9 会5p	研
第85回ヒューマンインタフェース 研究会	慶大	10月15日(金)	当日のみ		40-9 会6p	研
北陸支部 「講演会」	富山県総合情報 センター	10月15日(金)			40-9 会16p	陸
第5回ゲーム・プログラミング ワークショップ	箱根セミナー ハウス	10月15日(金) ~17日(日)	9月20日(月)	6月26日(土)	40-9 会9p	研
コンピュータセキュリティ シンポジウム'99(CSS'99)	ホテル日航 金沢	10月21日(木) ~22日(金)		8月16日(月)	40-6 会22p	研
第33回グループウェア研究会	大分大	10月21日(木) ~22日(金)	当日のみ		40-9 会6p	研
第124回ソフトウェア工学研究会	サンラポー むらくも(松江)	10月21日(木) ~22日(金)	当日のみ		40-9 会6p	研
第53回コンピュータと教育研究会	大阪市立大	10月22日(金)	当日のみ		40-9 会7p	研
中国支部 「見学会」	中国電力	10月22日(金)	10月15日(金)		40-9 会16p	中
中国支部 平成11年度電気・情報関連 学会中国支部連合大会	広島市立大	10月23日(土)			40-9 会16p	中
北海道支部 平成11年度電気関係学会 北海道支部連合大会	室蘭工大	10月23日(土) ~24日(日)		8月23日(月) 17時必着	40-8 会18p	北

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
関西支部 支部大会	ホテルアウイーナ 大阪	10月28日(木)	定員になり次第		40-9 会16p	西
第28回音声言語情報処理研究会	情報処理学会	10月29日(金)	当日のみ		40-9 会7p	研
「連続セミナー99」 車社会とモバイルコンピューティング	工学院大	10月29日(金)	定員になり次第		40-8 会15p	事
第26回プログラミング研究会	NTTスイート ヴィラ踊り子	10月29日(金) ～30日(土)	当日のみ		40-9 会7p	研
北陸支部 「講演会」	福井工大	11月11日(木)			40-9 会16p	陸
関西支部 平成11年度電気関係学会 関西支部連合大会	姫路工大	11月13日(土) ～14日(日)		8月10日(火) 必着	40-7 会22p	西
コンピュータシステム・シンポジウム	工学院大	11月29日(月) ～30日(火)		9月17日(金)	40-7 会13p	研
アドバンスト・データベース・ シンポジウム'99	東京周辺	12月6日(月) ～7日(火)		9月10日(金) 必着	40-7 会13p	研
アジア太平洋ソフトウェア工学 国際会議(ASPSEC'99)	四国電力総合 研修所(高松)	12月7日(火) ～10日(金)			40-9 会11p	研
第41回プログラミング・シンポジウム	箱根ホテル 小涌園	平成12年 1月11日(火) ～13日(木)		8月27日(金)	40-7 会14p	事
2000年情報学シンポジウム	日本学会議 講堂	1月13日(木) ～14日(金)		9月3日(金) 必着	40-7 会14p	研
情報システムと社会環境 シンポジウム	東洋大	1月21日(金)		9月10日(金) 必着	40-7 会15p	研
「連続セミナー99」ネットワーク社会の 犯罪防止とプライバシーの保護	工学院大	1月21日(金)	定員になり次第		40-8 会15p	事
ASP-DAC 2000 Asia and South Pacific Design Automation Conference 2000	Pacifico Yokohama	1月25日(火) ～28日(金)				事
分散システム/インターネット 運用技術シンポジウム2000	東大	2月3日(木) ～4日(金)		10月22日(金) 必着	40-9 会15p	研
インタラクティブ2000	東工大	2月29日(火) ～3月1日(水)		10月12日(火)	40-7 会15p	研
「連続セミナー99」安心ホームヘルス ケア/バーチャルホスピタル	工学院大	3月7日(火)	定員になり次第		40-8 会15p	事
IFIP「第16回世界コンピュータ会議」	中国北京	8月21日(月) ～25日(金)		平成12年 1月10日(月)	40-7 会18p	事
The 2001 Symposium on Applications and the Internet (SAINT-2001)	サンディエゴ 米国	平成13年 1月8日～ 数日間(予定)		平成12年 5月1日	40-9 会14p	事
論文誌投稿締切			発行予定月	論文/応募締切	掲載頁	
論文誌特集号「システムLSIの設計技術と設計自動化」			平成12年4月	9月17日(金)	40-5 会14p	論
論文誌特集号「人とコンピュータの新しい相互作用系」			平成12年5月	10月29日(金)	40-7 会16p	論
論文誌特集号「情報セキュリティの理論とその応用」			平成12年8月	11月30日(火)	40-6 会24p	論
論文誌特集号「システムソフトウェアの新しい潮流」			平成12年6月	12月10日(金)	40-8 会16p	論
論文誌特集号「モバイルコンピューティング」			平成12年9月	12月24日(金)	40-8 会17p	論
そ の 他				応募/推薦締切	掲載頁	
平成12年度会誌表紙デザイン				9月30日(木) 必着	40-9 会11p	編
情報処理学会フェロー候補者推薦				11月15日(月) 必着	40-9 会17p	総

記1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。
記2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号付録(会告)に掲載されています。
記3) 担当欄の記号は次のとおりです。研: 調査研究, 事: 事業, 国: 国際, 論: 論文誌, 編: 会誌, 総: 総務, 経: 経理, 会: 会員,
規: 情報規格調査会, 北: 北海道支部, 東: 東北支部, 海: 東海支部, 陸: 北陸支部, 西: 関西支部, 中: 中国支部, 四: 四国支部, 九: 九州支部。
各行事についての問合せ等は担当までお願いします。
記4) 掲載頁欄の記号は次のとおりです。本: 本誌, 会: 会告(付録), 全大: 全国大会プログラム(付録)

**ご意見を
お寄せください!**

【できるだけ月末までにお出しください】

宛先 (社)情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
Fax(03)5484-3534 E-mail:editj@ipsj.or.jp (eコードでお答えください)
http://www.ipsj.or.jp/magazine/an4009.html
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

1. あなたはモニタですか?
a. はい b. いいえ(eコード 1-)

2. **今月号(1999年9月号)**の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
(あなたの評価は年度のBest Author賞選定の際の資料となります。評価は以下の5段階評価をお願いします。)
a...大変参考になった b...よい c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない

【特集】 ウェアラブル・コンピュータ

- ウェアラブル・コンピュータの展開(eコード 2-1-)
次世代ICカードの本命, Java Card(eコード 2-2-)
ウェアラブルPC・ラピュータの開発(eコード 2-3-)
PCシンクロナイズ機能搭載のカードモバイル端末“DataSlim”(eコード 2-4-)
iモード携帯端末機(eコード 2-5-)
ウェアラブルPC(eコード 2-6-)

【解説】

- C-STAR 音声翻訳国際共同実験(eコード 2-7-)
翻訳: Linuxの心(eコード 2-8-)
翻訳: オープンソースソフトウェア開発の教訓(eコード 2-9-)
Root DNSの運用について(eコード 2-10-)

【連載】

- 放送と情報処理: 野球中継での情報処理(eコード 2-11-)
コンピュータと通信: SAN (Storage Area Network)(eコード 2-12-)
インタラクティブ・エッセイ: たかがメモリされどメモリ(eコード 2-13-)

【コラム】

- IPネットワーク革命: 通信コストを大幅に削減するインターネットVPN(eコード 2-14-)
情報セキュリティ歳時記: 不正アクセスの実態と対策(その1)(eコード 2-15-)
本当のインターネットをめざして: インターネットと電話(2)(eコード 2-16-)
現代・コンピュータ市場: ストレージ・ビジネスに力を入れるコンピュータ・ベンダ(eコード 2-17-)
情報技術の新時代に向けて: 情報化社会に不可欠な、主体性をつくる教育(eコード 2-18-)

【道しるべ】

- 「使いやすさ工学」のすすめ(eコード 2-19-)

3. 特に興味を持ってお読みになった記事・著者への質問・取り上げて欲しいテーマなどをお書きください。(eコード3)
また今月も「道しるべ」に取り上げてほしいテーマを募集しています。

4. あなたのご意見は「会員の広場」に掲載される場合があります。その場合,
a. 実名可(氏名のみ掲載) b. 匿名希望(eコード 4-)

5. (a) ご氏名 (eコード 5-1)

(b) ご所属 (eコード 5-2)

Tel () -

■ 編集室 ■

会誌編集委員長の石田先生が、98年11月の編集会議で「IC Cardの企画ができないか」と発言されたのをきっかけに、本企画の検討はスタートした。最初は1編の解説記事と考えていたが、編集会議で議論を重ねるにつれ、IC Cardが超小型携帯情報端末となり、最後は記事6編からなる特集「ウェアラブル・コンピュータ」へと発展していった。

編集会議では「なぜこんなに小さなフォームで、これほどの機能を実装しているのだろうか」という素朴な疑問からスタートし、(専門分野は異なるが)同じ技術者として「このフォームに入れた

いがために泣く泣く削った機能もあるはずだ」という議論に発展した。

本特集では上述したような、製品を作り込む上での設計思想・判断基準についても触れていただくよう執筆者に強くお願いした。これらは、学会員の皆様とは研究・開発分野は異なっている、同じ研究者として共有できる知識(技術)であると信じている。さらには本特集を契機に、別の新しい技術分野が開けることも期待している。

最後に、本特集の編集作業にあたっては、事務局の後路啓子さん、湯本祐子さんに大変お世話になり、あらためて感謝したい。

(小室 浩/本特集エディタ)

次号(10月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」ITS

総論: ITSの実現に向けて/ITSの国際動向/ITS情報通信システム技術/ITS情報流通プラットフォーム技術/ITSと情報処理技術/ITS車載端末の高度化技術/ITSの応用事例

解説

- インターネットのトラフィック制御-QoSの仕組みと技術課題.....長健二朗
- コンピュータグラフィックスのスポーツへの応用.....品川嘉久 他
- やさしいハードの話:携帯電話用アンテナ.....常川光一
- 道しるべ
- 仮想空間~コンピュータによる宇宙の創造~.....柳沢 豊

- 連載 インタラクティブ・エッセイ/コンピュータと通信/放送と情報処理
- コラム IPネットワーク革命/現代・コンピュータ市場/情報技術の新時代に向けて/情報セキュリティ歳時記/本当のインターネットをめざして

事務局本部

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
URL-http://www.ipsj.or.jp/

郵便振替口座 00150-4-83484
銀行振込(いずれも普通預金口座)
第一勧業銀行虎ノ門支店 1013945
東京三菱銀行虎ノ門公務部 0000608
名義人 社団法人 情報処理学会

規格部

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3
Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493
E-mail:standards@itscj.ipsj.or.jp

支部

北海道/東北/東海/北陸/関西/中国/四国/九州

複写される方に

[R]<学術著作権協会依託>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳等複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F 学術著作権協会
E-mail:kammori@msh.biglobe.ne.jp Tel(03)3475-5618 Fax(03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、下記のIn the USAに記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
41-6 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan

E-mail:kammori@msh.biglobe.ne.jp Tel: 81-3-3475-5618 Fel: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744 http://www.copyright.com.

40巻9号掲載広告目次<五十音順>

イムカ前付最終上	日本データパシフィック表2対向
インタフェース表3	富士通表4
オーム社前付2	理化学研究所前付最終下
共立出版前付3	World Computer Congress 2000表2
情報処理振興事業協会目次前	

◆広告料金表

掲載場所	色	スペース	料金 (円)
表紙2	4	1	330,000
表紙3	4	1	275,000
表紙4	4	1	385,000
表2対向	4	1	300,000
前付	4	1	275,000
前付	2	1	165,000
前付	1	1	135,000
前付	1	1/2	80,000
前付最終	1	1	148,000
目次前	1	1	148,000
差込み (A判70.5kg未満)		1丁	275,000
差込み (A判70.5kg～86.5kg)		1丁	350,000

◆体 裁

判 型	A4判
発行部数	35,000部
発 行 日	毎月15日
印刷方法	オフセット

◆広告原稿

申込締切日	前月10日
原稿締切日	前月20日
原 稿 寸 法	1P 天地260mm×左右180mm
	1/2P 天地125mm×左右180mm
原 稿 形 態	ポジフィルム

*上記料金には、消費税は含まれておりません。断切広告は上記料金の10%増です。

*広告は、コート紙を使用して印刷いたします。

*表紙4のサイズは、天地260mm×左右180mmです。

◆広告申込先/カタログ・資料請求先

(社) 情報処理学会 会誌部門 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

「情報処理」カタログ・資料請求用紙		Vol.40 No.9	
掲載広告のカタログ・資料をご希望の方はこの用紙をFAXするか、またはE-mailでご請求ください。			
<input type="checkbox"/> イムカ <input type="checkbox"/> インタフェース <input type="checkbox"/> オーム社 <input type="checkbox"/> 共立出版 <input type="checkbox"/> 情報処理振興事業協会 <input type="checkbox"/> 日本データパシフィック <input type="checkbox"/> 富士通 <input type="checkbox"/> 理化学研究所 <input type="checkbox"/> World Computer Congress 2000			
勤務先/学校名 部課/学科			
所在地			
ご芳名	年齢	電話	
あなたの勤務先に該当するものに○印を			
<業種>1.コンピュータ製造業 2.電気通信関係製造業 3.通信関係製造業 4.ソフトウェア業 5.官公庁 6.学校 7.その他 <職種>1.研究・開発 2.SE・プログラマ 3.製造・生産 4.企画・調査 5.営業販売 6.総務・経理 7.会社役員 8.その他			